



クラブ訪問 198

伝統の音楽を受け継いで

八生小学校下座クラブ

私たち八生小学校下座クラブは、4～6年生の6人で、クラブ活動の時間に音楽室や体育館で活動しています。

下座は、笛や鼓、太鼓、すり鉦すりがねなどによる祭り囃子ばやしです。八生地区にある二宮神社の祭礼でも演奏され、地域の人に親しまれています。このクラブでは、地域の伝統芸能を受け継ぐために、お囃子の楽器の一つである、しの笛の演奏を学んでいます。

クラブ担当の真田かおり先生と小竹悠先生は、部員一人一人に細かい指導をしてくれました。よく言われるのは、指を真っ直ぐにして穴を押さえることや、息を大きく吸い、お腹に力を入れて吐くこと。これに気を付けると、厚みのある大きい音が出せるようになります。演奏を始めるとつい忘れがちなのですが、先生がこまめに指摘してくれるので、注意するよう心掛けています。

下座をやっていて良かったと思うのは、自分の上達を実感できたときです。しの笛は音を出すのが難しく、最初は全く吹くことができませんでした。そのため、笛の持ち方や吹き方を教えてもらい、何度も練習してやっと音が出せるようになりました。一曲を通して吹けるようになったときや、

新しい曲を覚えたときは、うれしさが込み上げてきます。

現在は、発表会や祭礼で演奏する「二丁八木」や「大杉あんば」という曲を練習しています。これからもいろいろな曲を覚えて、地域を盛り上げていきたいです。



相羽 心 部長(6年生)

4年生から始めたしの笛も、今ではいろいろな曲を吹けるようになりました。もっと上手になるために、練習を頑張ります。



一音一音を大切に



全員で合奏

手びねりで味わい深い作品を

えびす会

私たちは、毎週水曜日に三里塚コミュニティセンターで陶芸を楽しんでいるサークルです。主に食器や花瓶などの制作に取り組んでいます。陶芸というと、勢いよく回転するろくろの上のせられた粘土に手を添えて、薄くのぼしていく光景を想像する人が多いかもしれませんが、あれは電動ろくろを使った制作方法。私たちは、粘土をひも状にのぼし田を描くように巻き上げて、皿や湯飲み、花瓶などの輪郭を作り、手ろくろにのせて形を整えます。

手ろくろは電動ろくろに比べ、成形に時間がかかりますが、より小型で、気軽に扱えるという利点があります。また、仕上がりが均一になる電動ろくろと違い、一点一点違った作品になるのが魅力。出来上がりをイメージしながら、少しずつ形を整えていきます。そうして成形し



手ろくろを使って成形



仕上がりを想像して釉掛け



いつもここにこ「えびす顔」のメンバー

たものを乾燥させ、素焼き、絵付け、うわぐすりを塗る釉掛け、本焼きへと進みます。

作品が完成すると、家に持って帰って早速使ってみます。特に、自作の食器で食べる料理の味は格別で、メンバーの中には、自宅にある食器のほとんどが手作りという人もいます。また、毎日のように食卓に上がるので、作品を見る目が肥えてきた家族に、感想を聞くのも楽しみの一つ。新作を持ち帰るたびに「これは厚過ぎるね」「これはうまく出来過ぎだよ。本当は先生が作ったんじゃないの」などと、家族で盛り上がるんですよ。

現在は、11月5日(日)に三里塚コミュニティセンターで行われる「コミセンまつり」での展示に向けて準備しています。家事や仕事の合間を縫って制作に取り組んできた私たちの活動の成果を、ぜひ見に来てください。

スクスクのびのび



とうこう やすなり
東郷 泰成くん(5歳・左)成井
なつき
夏希ちゃん(3歳)

時に(は)けんかもするけれど、2人でいつも楽しそうに遊んでいます♡

かねだ りょう
金田 享くん(1歳)本城

ニコニコ笑顔にほっこり♡お兄ちゃんたちと仲良く大きくなあれ♪



かんざき そうた
神崎 蒼太くん(5歳・左)寺台
しゅんた
駿太くん(11カ月)

お祭り大好きお兄ちゃんと、いつもニコニコな弟。仲良し兄弟です!!

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503